

契約総論

科目ナンバリング CIL-202
必修 2単位

長谷川 成海

1. 授業の概要(ねらい)

私たちは現代社会において、契約の網の中で生活している。売買契約によって生活に必要な物品を購入し、電力供給契約によって電気製品を使用し、雇用契約によって労働して賃金を受け、旅客運送契約によって電車やバスに乗る。他方、社会全体から見れば、契約は商品流通、生産や資金調達など、経済活動を円滑に推進するために重要な役割を果たしている。

この授業では、契約の代表格とも言える売買の様々なケースを例に挙げながら、民法が定める契約に関する共通ルール(契約総則)を学ぶ。

なお、授業中に、授業内容を確認するための演習問題を適宜配布し、解く。

2. 授業の到達目標

- ①契約総則に関する基礎知識を習得する。
- ②契約諸類型のうち、売買を多く例に取り上げるので、これについても基礎的な理解を得ることとしたい。

3. 成績評価の方法および基準

LMSを利用した期末試験により(100%)評価する。問題内容は、授業中に解く演習問題をベースにする。詳細は授業中に確認する。

4. 教科書・参考文献

教科書

潮見佳男 『基本講義 債権各論<1>契約法・事務管理・不当利得』第3版 新世社

特になし。

参考文献

実習指導の際、適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

復習を中心に、授業でのノートを参考にしながら教科書を読んでもらいたい。さらに、授業中に解く演習問題をLMSにアップロードするので、こちらもきちんと理解したうえで、自力で正答を得られるように努めるように。わからないことがあれば、教科書を参照することはもとより、担当教員に遠慮なく質問してもらいたい。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 契約自由の原則、双務契約の構造(1)
- 【第3回】 双務契約の構造(2)、契約プロセス
- 【第4回】 契約の成立(1):意思表示
- 【第5回】 契約の成立(2):申込と承諾
- 【第6回】 定型約款
- 【第7回】 同時履行の抗弁権
- 【第8回】 第三者のためにする契約
- 【第9回】 解除(1)
- 【第10回】 解除(2)
- 【第11回】 解除(3)、受領遅滞
- 【第12回】 危険負担
- 【第13回】 特定商取引法
- 【第14回】 消費者契約法
- 【第15回】 まとめ